

第29回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 2016年5月31日(火)9時00分～10時40分
2. 場所 日本自動車会館11階
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 大杉座長、石川委員、小島委員
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部
経済産業省・環境省担当官
4. 議題
 1. 2015年度 離島対策等支援事業 実績報告(案)
 2. 離島対策支援事業における申請台数と経済市況の関連
 3. 不法投棄等の未然防止に資する市区町村廃棄物担当者向け説明会概要

5. 会議の概要

(再資源化支援部)

議題1. 2015年度 離島対策等支援事業 実績報告(案)について説明。

(委員)

議題1. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題2. 離島対策支援事業における申請台数と経済市況の関連について説明。

(委員)

資料4「1. 前提条件」において、鉄スクラップ価格は関東・中部・関西の3地区平均価格としているが、大規模離島が比較的多い長崎県や鹿児島県を含む九州地区の鉄スクラップ価格に差があるのかを知りたい。

(再資源化支援部)

関東・中部・関西の3地区平均価格と九州地区の鉄スクラップ価格には500円程度の差がある。地区ごとに価格差はあるものの並行に推移していることから、今回の前提条件である鉄スクラップ価格は関東・中部・関西の3地区平均価格とした。

(委員)

今後、同様の確認を実施する場合は、九州地区に多く分布する大規模離島の申請台数を九州地区の鉄スクラップ価格と比較する等の地域性も考慮されたい。

(再資源化支援部)

今後、同様の確認を実施する場合は地域性も考慮する。

(委員)

資料4「3. 確認結果」は、概ね納得できる結果となっている。2015年度の申請台数と鉄スクラップ価格の推移では、関連事業者の法定処理期間が迫ったことにより一時的な申請台数の増加に影響を与えているように見受けられる。確認期間を単年ではなく複数年とし、鉄スクラップ価格の予測可能性等の要素を含めて分析を進めれば、関連事業者の法定処理期間による影響等も定量的に算出できる可能性がある。

(再資源化支援部)

今後、同様の確認が必要となった場合は、委員の意見を踏まえ確認期間やその他の要素を検討する。

(委員)

議題2. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題3. 不法投棄等の未然防止に資する市区町村廃棄物担当者向け説明会概要について説明。

(委員)

資料5「4. 実施スケジュール」において、既に説明会を実施した都道府県からの評価を知りたい。

(再資源化支援部)

既に説明会を実施した岩手県、宮城県からはいずれも一定の評価があった。事情により出席市町村が少なかった岩手県からは、再度説明会を実施してほしいとの要望をいただいている。市区町村における人事異動は2～3年周期が多く、引き継ぐ業務も多岐に渡ることから、少しでも市区町村担当者の理解が促進されるよう今後も定期的の実施する。

(委員)

特に町村の担当者は、一人で複数の法律業務を担当しているため、自動車リサイクルの知識等まで十分に引き継ぎがなされていないことが想定される。市区町村における人事異動を考慮すると、3年程度をかけて全都道府県で説明会を実施することにより、全ての市区町村担当者を網羅できると考えられる。本年度の取り組みについて振り返りを行う際には、来年度以降の説明内容に加えて実施周期を検討の上、市区町村に対する直接的な情報発信の取り組みを継続されたい。

(再資源化支援部)

振り返りを行う際には、来年度以降の説明会の実施周期を検討する。

(委員)

今後、説明会を予定している北海道や鹿児島県等を含めて、市町村の全ての区域が離島である全部離島の市町村が対象となる説明会については、全国離島振興協議会として情報発信に協力するため、当該説明会の日程等について情報提供されたい。

(再資源化支援部)

今後、全部離島の市町村が対象となる説明会については、全国離島振興協議会へ情報提供する。

(委員)

議題3. については、承認する。

(再資源化支援部)

離島対策等検討会での承認を受け、2015年度 離島対策等支援事業 実績報告(案)における収支報告及び出えん実績について、2016年6月7日開催の第67回資金管理業務諮問委員会に上程する。

以上